

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70107	2007/09/ 21	70537	ヒトポリ オーマ ウイルス 感染	J Virol 2007; 81: 4130-4136	ヒトの気道からの検体をウイルススクリーニングし、KIポリ オーマウイルスと暫定的に名付けた未知のポリオーマウイ ルスを同定した。このウイルスは、遺伝子のearly領域では、 他の霊長類のポリオーマウイルスに系統遺伝学的に近縁で あるが、late領域では、既知のポリオーマウイルスに対して 相同性が少ない(アミノ酸同一性30%未満)。このウイルス は、PCRによって、鼻咽頭吸引物637例中6例(1%)と便検体 192例中1例(0.5%)で検出されたが、尿及び血液検体では検 出されなかった。	
70107	2007/09/ 21	70537	ヒトポリ オーマ ウイルス 感染	PLoS Pathogens 2007; 3: 595- 604	急性呼吸器感染症に罹った患者からの呼吸分泌物中に存 在する新規のポリオーマウイルスを同定し、WUウイルスと名 付けた。WUウイルス遺伝子は5229bpで、Polyomaviridaeファミ リイの特徴を持つ。系統遺伝学的分析から、このWUウイ ルスは、既知の全てのポリオーマウイルスとは異なっている ことが明白となった。オーストラリア及び米国の急性呼吸器 感染症患者2135例中43例からWUウイルスが検出され、地 理的に広く分布していることが示唆された。	
70112	2007/09/ 28	70553	マラリ ア	ABC Newsletter 2007年7月6日	FDAは、初めて認証された米国のマラリア用迅速テスト、 Binax NOWマラリア検査の使用を許可した。同検査は、非常 に迅速で使用が簡便で、全血検体をディップスティックに2、3 滴つけて15分後には結果が得られる。検査結果の確定には 標準的顕微鏡検査法を用いなければならない。米国外のマ ラリア流行地域で行った多施設試験において、標準的顕微 鏡診断と比較して当該検査の正確度は95%であった。	27
70112	2007/09/ 28	70553	マラリ ア	ProMED- mail20070501. 1414	ジャマイカ保健省によると、2007年4月の1ヶ月間に新規のマ ラリア症例11例が報告された。内2例はメスのハマダラカが 媒介する熱帯熱マラリア原虫によるものであった。また、 2006年12月に最初の症例が報告されて以降、輸入感染症 例が7例あった。2007年4月1~21日の間に実施された884検 体の検査の結果、血液検体陽性率は0.7~1.8%で減少を続 けている。最近、Anopheles albimanus蚊がマラチオン殺虫剤 に耐性を示し始めたことが確認されたため、感染拡大を防ぐ ために代替りの殺虫剤を探している。	
70112	2007/09/ 28	70553	マラリ ア	Vox Sanguinis 2007; 93(Suppl.1): P239	韓国における輸血によるマラリア感染の発生について調査 した。マラリア診断前6ヶ月間以内に供血を行った供血者 は、2005年5月~2006年8月の三日熱マラリア患者2056名中 46名(2.2%)であった。46名の保管血液51検体についてPCR を実施し、PCR陽性の血液成分を輸血された全受血者を調 査したところ、1名の受血者に輸血によるマラリア伝播が確 認された。PCRに基づくマラリア遡及調査は、輸血によるマ ラリア伝播の特定に役立つ。	28
70143	2007/10/ 26	70679	リケッ チア症	Jpn J Infect Dis 2007; 60: 241-243	血清学的、微生物学的に確定された日本紅斑熱の初めての の死亡症例を報告する。淡路島在住の77歳男性で、2005年 9月2日に食欲低下を呈し、翌日、下腿に皮疹が出現、4日目 に38.7°Cの高熱、歩行障害、構音障害が出現、肝機能障害 が急速に進行し、DIC、消化管出血により8日目に死亡した。 右肩にダニ刺し口があった。血液よりDNAを抽出し、PCRを 実施したところ、塩基配列はR. japonicaと100%一致した。日 本紅斑熱は増加傾向にあり、注意が必要である。	29